

# 7

# 世界と日本の結びつき

## 1 世界の交通・通信網と日本

- (1) 航空交通…人々の国際間の移動の中心。
- 航空路の発達…例年、年間1600万人以上の日本人が海外渡航→(①) 目的が中心。来日する外国人①者や、(②) 者の増加。
  - 航空貨物の特色…軽量で価値の高いもの、鮮度が重要なもの→(③) などの電子部品、(④) などの生鮮食料品・生花など。
  - 日本の空の玄関…千葉県の(⑤) 。
  - 大阪府の(⑥) 。
- (2) 海上交通…ものの国際間の移動の中心。
- 原油や石炭などの工業(⑦) や、自動車などの重い機械類の輸送。
- (3) 通信技術の発達…海底ケーブルの利用中心→通信(⑧) の利用中心の交信へ。
- 国際電話や(⑨) などの利用の増加。
- (4) 問題点…地域間の格差が大きい。航空交通・海上交通・通信網ともに発達は欧米などにかたよる。

## 2 世界と日本の貿易

- (1) 世界の貿易…国際的な分業へ…各国の特徴を生かした生産と国際貿易を行う→(①) から先進工業国への工業製品の輸出も増加。
- (2) 日本の貿易…(②) からの転換。
- 原料を輸入し製品を輸出する(②)→生産したものを相互に依存し合う貿易へ。
  - おもな輸出品…(③) やIC[集積回路]などの機械類。
  - おもな輸入品…食料品、(④) などの工業原料・燃料、その他工業製品も輸入→欧米や中国、アジア(⑤) などから。
  - (⑥) …かつて、アメリカ合衆国やEUとの間に生じた。日本の輸出超過が原因。

## 3 広がる日本の交通・通信網

- (1) 整備される交通・通信網…新幹線・航空路・高速道路などの発達。情報通信機器の普及による通信網の発達→携帯電話やパソコン。
- (2) 問題点…地域間の格差大→主要都市間に集中。

## 国内輸送の内訳の変化

貨物	①	②	③	④
1960年度	0.0	45.8%	15.0	39.2
2018年度	0.3	43.5	51.5	47

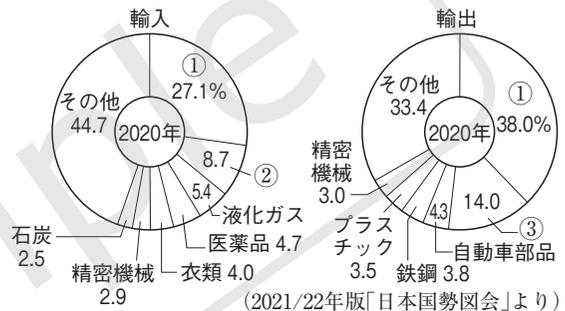
旅客	①	②	③	④
1960年度	0.3	1.1	22.8%	75.8
2018年度	6.6	62.9	0.2	30.3

(2020/21年版「日本国勢国会」などより)

①～④に入る輸送手段を書け。

- ①( ) ②( )  
③( ) ④( )

## 日本の貿易品の構成



①～③にあてはまる品目を書け。

- ①( ) ②( )  
③( )

## 日本のおもな貿易品の輸入相手先[2020年]

小麦 1628 (億円)	① 46.9%	カナダ 36.5	① 1.7	② 1.7	③ 1.7	④ 1.7	⑤ 1.7	⑥ 1.7	⑦ 1.7	⑧ 1.7	⑨ 1.7	⑩ 1.7	⑪ 1.7	⑫ 1.7	⑬ 1.7	⑭ 1.7	⑮ 1.7	⑯ 1.7	⑰ 1.7	⑱ 1.7	⑲ 1.7	⑳ 1.7	㉑ 1.7	㉒ 1.7	㉓ 1.7	㉔ 1.7	㉕ 1.7	㉖ 1.7	㉗ 1.7	㉘ 1.7	㉙ 1.7	㉚ 1.7	㉛ 1.7	㉜ 1.7	㉝ 1.7	㉞ 1.7	㉟ 1.7	㊱ 1.7	㊲ 1.7	㊳ 1.7	㊴ 1.7	㊵ 1.7	㊶ 1.7	㊷ 1.7	㊸ 1.7	㊹ 1.7	㊺ 1.7	㊻ 1.7	㊼ 1.7	㊽ 1.7	㊾ 1.7	㊿ 1.7		
原油 46466	サウジアラビア 39.5%	アラブ首長国 31.5	ロシア 8.9	カタル 8.6	① 4.1	② 5.7	③ 4.1	④ 4.1	⑤ 4.1	⑥ 4.1	⑦ 4.1	⑧ 4.1	⑨ 4.1	⑩ 4.1	⑪ 4.1	⑫ 4.1	⑬ 4.1	⑭ 4.1	⑮ 4.1	⑯ 4.1	⑰ 4.1	⑱ 4.1	⑲ 4.1	⑳ 4.1	㉑ 4.1	㉒ 4.1	㉓ 4.1	㉔ 4.1	㉕ 4.1	㉖ 4.1	㉗ 4.1	㉘ 4.1	㉙ 4.1	㉚ 4.1	㉛ 4.1	㉜ 4.1	㉝ 4.1	㉞ 4.1	㉟ 4.1	㊱ 4.1	㊲ 4.1	㊳ 4.1	㊴ 4.1	㊵ 4.1	㊶ 4.1	㊷ 4.1	㊸ 4.1	㊹ 4.1	㊺ 4.1	㊻ 4.1	㊼ 4.1	㊽ 4.1	㊾ 4.1	㊿ 4.1
衣類 27233	② 54.1%	ベトナム 16.0	カンボジア 4.1	① 1.7	② 1.7	③ 1.7	④ 1.7	⑤ 1.7	⑥ 1.7	⑦ 1.7	⑧ 1.7	⑨ 1.7	⑩ 1.7	⑪ 1.7	⑫ 1.7	⑬ 1.7	⑭ 1.7	⑮ 1.7	⑯ 1.7	⑰ 1.7	⑱ 1.7	⑲ 1.7	⑳ 1.7	㉑ 1.7	㉒ 1.7	㉓ 1.7	㉔ 1.7	㉕ 1.7	㉖ 1.7	㉗ 1.7	㉘ 1.7	㉙ 1.7	㉚ 1.7	㉛ 1.7	㉜ 1.7	㉝ 1.7	㉞ 1.7	㉟ 1.7	㊱ 1.7	㊲ 1.7	㊳ 1.7	㊴ 1.7	㊵ 1.7	㊶ 1.7	㊷ 1.7	㊸ 1.7	㊹ 1.7	㊺ 1.7	㊻ 1.7	㊼ 1.7	㊽ 1.7	㊾ 1.7	㊿ 1.7	
コンピューター 24003	② 78.5%	① 4.2	タイ 3.9	① 4.2	② 4.2	③ 4.2	④ 4.2	⑤ 4.2	⑥ 4.2	⑦ 4.2	⑧ 4.2	⑨ 4.2	⑩ 4.2	⑪ 4.2	⑫ 4.2	⑬ 4.2	⑭ 4.2	⑮ 4.2	⑯ 4.2	⑰ 4.2	⑱ 4.2	⑲ 4.2	⑳ 4.2	㉑ 4.2	㉒ 4.2	㉓ 4.2	㉔ 4.2	㉕ 4.2	㉖ 4.2	㉗ 4.2	㉘ 4.2	㉙ 4.2	㉚ 4.2	㉛ 4.2	㉜ 4.2	㉝ 4.2	㉞ 4.2	㉟ 4.2	㊱ 4.2	㊲ 4.2	㊳ 4.2	㊴ 4.2	㊵ 4.2	㊶ 4.2	㊷ 4.2	㊸ 4.2	㊹ 4.2	㊺ 4.2	㊻ 4.2	㊼ 4.2	㊽ 4.2	㊾ 4.2	㊿ 4.2	

(2021/22年版「日本国勢図会」より)

(1) ①・②にあてはまる国名を書け。

- ①( ) ②( )

(2) 石油のおもな輸入相手国は、(①) 湾沿岸の国々となっている。いっぽう、コンピューター・衣類は、おもに(②) の国々から輸入されている。



## 重要事項の確認



▼ 次の問いに答えなさい。

- ① 現代の世界では、人々の国際間の移動は、何が中心となっていますか。 ① \_\_\_\_\_
- ② いっぽう、ものの国際間の移動は、何が中心となっていますか。 ② \_\_\_\_\_
- ③ 日本で、人が300~500kmの中距離を移動するのに多く利用される乗物を何と  
いいますか。 ③ \_\_\_\_\_
- ④ 自動車専用的高速交通網を何といいますか。 ④ \_\_\_\_\_
- ⑤ 軽量で価値の高いものを扱う貨物のうち、集積回路とよばれている軽い電子機器  
をアルファベットで何といいますか。 ⑤ \_\_\_\_\_
- ⑥ 日本の空の玄関口のうち、出入国者数、輸出入額ともに日本一の港湾である千葉  
県にある空港を何といいますか。 ⑥ \_\_\_\_\_
- ⑦ 西日本を代表する貿易港で、コンテナ専用ふ頭をもつポートアイランドなどの人  
工島がある港はどこですか。 ⑦ \_\_\_\_\_
- ⑧ 国際間の通信手段の中心は、海底ケーブルから何へと変化していますか。 ⑧ \_\_\_\_\_
- ⑨ 近年、利用者が増加している、コンピューターを使った世界的な通信システムの  
ことを何といいますか。 ⑨ \_\_\_\_\_
- ⑩ 国際間の結びつきは、地域的に大きなかたよりがありますが、アメリカやどの地  
域に大きくかたよっていますか。 ⑩ \_\_\_\_\_
- ⑪ さまざまな地域と路線で結ばれており、人の乗り換えや物の積み替えなどの拠点  
となる空港を何といいますか。 ⑪ \_\_\_\_\_
- ⑫ 世界の貿易をめぐる問題を解決するために重要な役割を果たす機関を何といま  
すか。 ⑫ \_\_\_\_\_
- ⑬ これまでの日本の貿易の中心であった、工業原料・燃料を輸入して、工業製品を  
輸出する貿易のやり方を何といいますか。 ⑬ \_\_\_\_\_
- ⑭ 日本のおもな輸出品は、世界に最高品質をほこる集積回路などと、機械組立工業  
製品の代表である何ですか。 ⑭ \_\_\_\_\_
- ⑮ 近年の日本は、工業製品も輸入していますが、そのおもな輸入相手先である台湾  
やシンガポールなどのアジアの新興工業経済地域を、何とよんでいますか。 ⑮ \_\_\_\_\_
- ⑯ 現在開通している新幹線のうち、東京—新青森間を結ぶ新幹線を何といいますか。 ⑯ \_\_\_\_\_
- ⑰ 大阪湾にある、日本の空の玄関口となっている空港の名前を書きなさい。 ⑰ \_\_\_\_\_
- ⑱ 日本の国内交通の中心地は、鉄道網・高速道路網・航空網ともに、どこになっ  
ていますか。 ⑱ \_\_\_\_\_
- ⑲ 本州四国連絡橋のひとつで、岡山県倉敷市児島と香川県坂出市を結ぶ、鉄道と道  
路が併用している橋を何といいますか。 ⑲ \_\_\_\_\_
- ⑳ 青森県と北海道をつなぎ本州と北海道を結んでいる、鉄道輸送に使用されている  
海底トンネルを何といいますか。 ⑳ \_\_\_\_\_

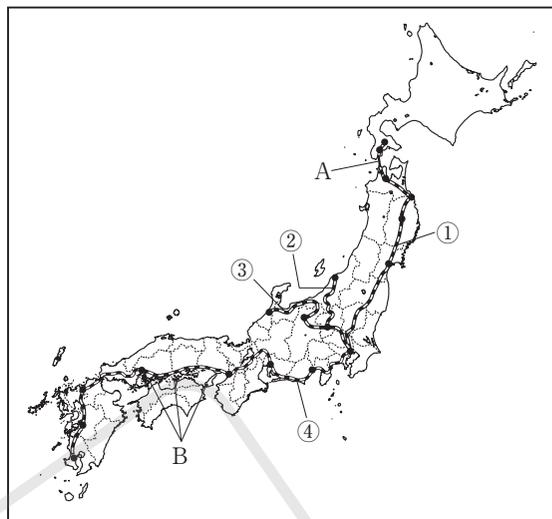
# 入試対策問題

1 右の図を見て、次の問いに答えなさい。

(1) 次の文は、地図中の①～④のいずれかの新幹線の沿線に沿っている景観について、東京駅から順番に説明したものである。この文にあてはまる新幹線の経路を1つ選び、番号で答えよ。また、あわせて、その新幹線の路線名を書け。

□番号[            ] □路線名[            ]

東京駅を出るとビル群に続いて、住宅地や工場が見られた。その後、1時間も経過しないうちに、高くてけわしい山岳地帯になった。ここは日本有数の豪雪地帯で、本州を太平洋側と日本海側に分けている。そして、山岳地帯を過ぎてしばらくすると、広大な水田地帯が広がる平野に出た。この水田地帯を過ぎて、間もなく目的地(●印の地点)に到着した。



□(2) 地図中Aの北海道と青森県を結ぶトンネルを何というか。 [            ]

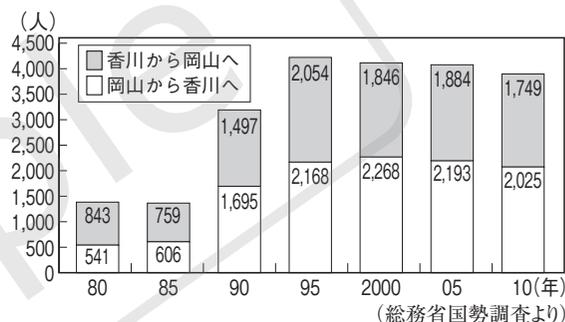
□(3) 地図中Bの本州と四国を結ぶ3つの橋をあわせて何というか。 [            ]

□(4) 右のグラフは、(3)の橋のうち、瀬戸大橋についてのものである。この表を見て、瀬戸大橋が開通した年として最も適当なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。 [            ]

ア 1978年    イ 1983年    ウ 1988年    エ 1993年

□(5) 都市の間が交通網で結ばれることにより、大都市に人が吸い寄せられるように移動する現象を何というか答えよ。 [            ]

岡山・香川両県の間での通勤・通学者数の変化



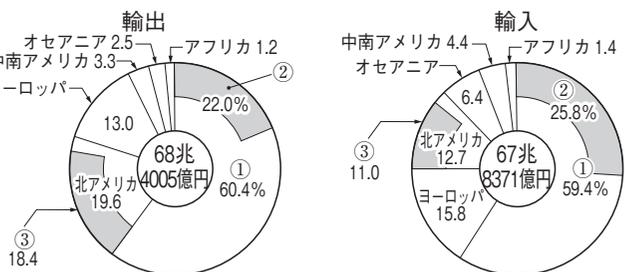
2 右の図を見て、次の問いに答えなさい。

(1) 次の文の(    )にあてはまることばを、それぞれ答えなさい。 図I 日本のおもな貿易相手 [2020年]

日本の最大の貿易相手の地域は、輸出も輸入も( ① ) である。国では、人口が世界で最も多い( ② ) が最大の貿易相手国で、次に世界の経済の中心でもある( ③ ) との貿易額が大きい。

□①[            ] □②[            ]

□③[            ]



□(2) 図IIのA～Eは、成田国際空港・東京港・名古屋港・大阪港・関西国際空港のいずれかを表し、それぞれの輸出品目のうち、輸出額の上位3品目を示している。A～Eの2つを示した組み合わせとして正しいものを次のア～オから1つ選び、記号で答えよ。 [            ]

ア A 関西国際空港 - B 大阪港

イ C 東京港 - D 成田国際空港      ウ B 東京港 - C 名古屋港

エ B 関西国際空港 - E 名古屋港      オ D 大阪港 - E 成田国際空港

図II 港別の主要輸出品 [2020年]

	第1位	第2位	第3位
A	自動車部品	半導体等製造装置	コンピュータ部品
B	集積回路	科学光学機器	電気回路用品
C	コンデンサー	集積回路	プラスチック
D	半導体等製造装置	金(非貨幣用)	科学光学機器
E	自動車	自動車部品	内燃機関

(2021/22年版「日本国勢図会」より)

③ 右の図を見て、次の問いに答えなさい。

- (1) 右のグラフは、日本の輸出品の品目別輸出額の割合を示したものである。グラフ中の①～③にあてはまる品目名を、次のア～エから1つずつ選び、記号で答えよ。



①[ ] ②[ ] ③[ ]

ア 自動車 イ 機械類 ウ 鉄鋼 エ 薬品

- (2) 日本の輸入品の品目別輸入額の上位3位までの品目(2020年)を、輸入額の多い順に並べた組み合わせとして正しいものを、次のア～ウから1つ選び、記号で答えよ。 [ ]

ア 1位は機械類, 2位は原油および石油製品, 3位は液化ガス  
 イ 1位は鉄鉱石, 2位は原油および石油製品, 3位は魚介類  
 ウ 1位はせんい製品, 2位は機械類, 3位は原油および石油製品

④ 次の文を読んで、問いに答えなさい。

2030年までに達成すべく、国際的に取り組まれている目標が「SDGs(( )な開発目標)」である。国際貿易では、発展途上国が先進国に比べて不利な立場にあるという課題を解決する取り組みが世界的に進められている。

- (1) 文中の( )にあてはまる語句を書け。 [ ]

- (2) 下線部の取り組みの1つとして、フェアトレードという貿易のしくみがある。次のフェアトレードを説明した文中の(①)～(④)に入る語句として最も適切なものを下の語群から選び、それぞれ記号で答えよ。

フェアトレードとは、( ① )の原料や製品を( ② )価格で( ③ )取り引きするしくみである。これは、立場の弱い( ④ )の生産者や労働者の生活改善と( ④ )を目指して行われている。

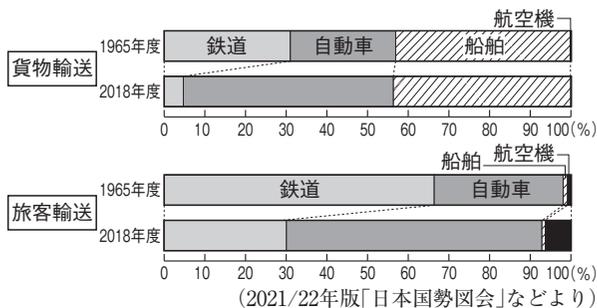
①[ ] ②[ ] ③[ ] ④[ ]

ア 一度だけ イ 公正な ウ 自立 エ 先進国 オ 発展途上国 カ 継続的に キ 依存

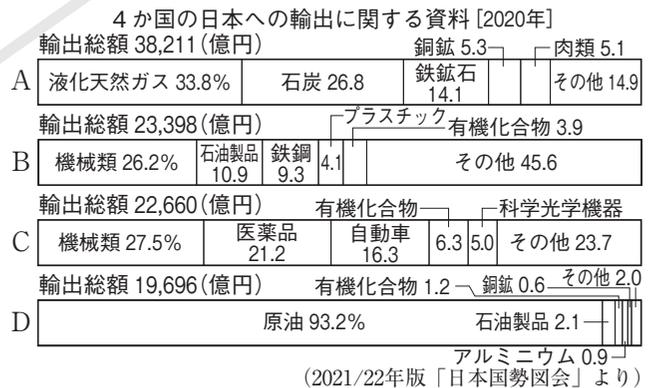
**Point Up!** 資料を見て記述する問題

◆ 次の問いに答えなさい。

- (1) 次のグラフは、貨物と旅客それぞれの輸送について、国内輸送量の交通機関別の割合の変化を示している。貨物と旅客に共通する陸上の輸送手段の移り変わりをグラフから読み取り、簡単に書け。



- (2) 次のグラフのA～Dは、ドイツ・サウジアラビア・オーストラリア・大韓民国のいずれかの国の日本への輸出総額とその内訳を示したものである。



- ① A・Dの国名をそれぞれ答えよ。  
A [ ] D [ ]
- ② A～Dのそれぞれの輸出品に着目して、A～Dを2つずつのグループに分け、また、分けた理由を簡単に書け。  
グループ分け [ ]と[ ]  
理由 [ ]